

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障害児(者)通園事業もあ		
○保護者評価実施期間	2025年12月2日		2025年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年12月2日		2025年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの利用者さんご家族の意向に寄り添った支援体制	日々の送迎時や、連絡帳、懇談会や、個別支援計画書の振り返りなどコミュニケーションを密にとっている	引き続き寄り添ったコミュニケーションを大事にしていく
2	多職種、他部署との連携を図った関わり	他事業所、他部署(リハビリ、学校など)との情報共有をしながら支援している	今後も外部会議に参加し取り組みを共有し連携を図っていく
3	情報共有体制の充実	ご家族、スタッフ、他部署、他事業所、他病院等とタイムリーに情報を共有し、心配事や、問題を早期に改善できるように配慮している	更なるニーズに答えられるよう、スタッフの自己研鑽にも努めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発信力	取り組んでいる内容(安全計画の取り組みなど)が、ご家族への周知が出来ていない	日々の連絡帳や、お便りの発行をしながらお伝えしていく
2	地域との交流活動	コロナ禍以降、外部との交流に制限があり実施できていない	感染状況をみながら計画をしていきたい
3	保護者支援	数年前には、進路について語る会を企画したが、今年度は未計画	ご家族の意向をお聞きしながらニーズに沿った形で検討していきたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	重症心身障害児(者)通園事業もあ
------	------------------

公表日 2026/1/13

利用児童数 5

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2			もう少し広いスペースだとい	利用日にベッド配置を変えたり、廊下に車椅子を出さずしながら、出来るだけ広い空間が保てるように工夫をしています	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4			1	看護師がいるので安心。いざとなれば、Dr がいる。	今後も安心してご利用いただけるようにスタッフ間で連携し対応していきます	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4				1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。			1	2	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	1			1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4				1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	1		2		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5						
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5						
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5							

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					

公表

事業所における自己評価結果

公表日

2026年 1月 13日

事業所名	重症心身障害児(者)通園事業もあ				公表日	2026年 1月 13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3	少し狭いが、利用日に応じてベッドを廊下へだすなどレイアウトを変えている	利用時間帯によっては、手狭な場合もあるが、廊下へ車椅子を出すなど工夫しながら対応する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	看護師が1名の為医療的ケアの利用人数に限りがある	年々医療的ケアが必要な方が増えてきている。リリーフなど体制を構築していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	利用者に応じてマットを用意などしている	利用者ごとの特性にあわせた環境作りを今後もしていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	不潔エリアをパーテーションで区切れるが、人の行き来があり完全ではない	廃棄ボックスの位置を検討していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	3	1部屋の為、個別空間はカーテンやパーテーションを使用している	居心地を考え今後も環境を整えます
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	ミーティングを行い情報共有をしている	今後も継続していきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	会話などから要望を伺い、業務改善につなげている	反省点から業務改善につなげていきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		面談を行う事で業務改善につながっているところもある	今後も継続していきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	業務中、利用者がある中での参加の為しっかり受講ができない	研修日を年間計画でたて、研修時間を確保する
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			今後も継続していきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		リハビリスタッフからの情報を得ながら実施している	今後も継続していきます
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		スタッフ全員での検討の場を設けている	今後も継続していきます
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	スタッフ全員が確認できるようにしているが不十分な時がある	確認しながら進めて行く
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	スタッフ全員が周知できるようにしているが不十分な時がある	確認しながら進めて行く
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		保育士を中心に立案している	今後も継続していきます

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		利用者の意向や家庭ではできない事や季節感を取り入れ実施している	今後も継続していきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		常に反応などを共有している	今後も継続していきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		会議に参加し共有できている	今後も継続していきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ て支援を行っているか。	4		短時間の取り組みになるが工夫して行っている	今後も継続していきます
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	4		利用者ごとの反応やサインを読み取っている	今後も継続していきます	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達 支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	母体施設職員との情報共有はできている	今後も情報共有していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。		4		感染状況をみながら計画していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		MSWが参加しているが、情報共有をしていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	1	3	研修のお知らせなどのチラシを掲示し紹介 している	園独自での開催は難しいが、研修会等の情報 は今後も継続して発信していく
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	3	1	MSWと分担しておこなっている	今後も継続していきます	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	学校での参観日や懇談会などで情報は共有されているが園独自の計画は今年度はなし	ご家族のニーズを聞きながら、希望に沿った内容を検討していく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	コロナ禍より制限はあるが、実習生との交流やボランティア活動の企画には参加している	感染状況をみて検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		センター全体訓練へ参加している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		年間計画にそい実施している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3	防災委関連とあわせ、お便りで周知していく	年間活動予定などを発信していきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		同意書、実施記録、評価など適宜実施している		